

ンドルーム)の概念を導入した医療構
造改革が平成20年度から展開されます。
本町においても生活習慣病が死亡原因
の6割を占めており、生活習慣を改善
して病気を予防する「一次予防」に重点
を置いた対策を進めてまいります。ま
た、子供たちが虫歯や肥満傾向にあり
生活習慣、食習慣の基礎づくりや心身
ともに健やかな子育てができる環境づ
くりを努めてまいります。

地域医療については、昨年11月に本
町の医療の拠点として柳沢北浜地区土
地区画整理事業区域内に新築移転され
た県立山田病院がさらに地域総合病院
として十分な機能が發揮されるよう、
医師確保についても引き続き要望して
まいります。移転後の旧山田病院跡地
は町が取得することとしておりますが、
建物についても利活用の可能性を検討
しながら県医療局と協議を進めていく
考えであります。

国民健康保険事業は、昨年の医療制



度改革により、生活習慣病の予防を中
心とした医療費適正化対策の推進、医
療保険者による特定健診・特定保健指
導が義務化されました。本年度は、国
が策定する特定健診等基本指針に即し
て、5年を1期とする特定健診等実施
計画を策定致します。また、新たに岩
手県後期高齢者医療広域連合が運営す
る後期高齢者医療制度については、広
域連合と連携した管理システムを構築
し、平成20年度の実施に向けて準備し
てまいります。

保育園については、延長保育、一時
保育、休日保育などの子育て支援事業
の充実を努めてまいります。

子育て支援事業は子育てホームページ
を開設し、情報の発信や子育て支援
の普及・啓発に努め、山田町次世代育
成支援計画に基づく支援事業を推進し
てまいります。また、乳幼児、妊産婦
母子家庭などへの医療費給付事業は継
続して実施してまいります。

関口児童館は、従来の保育型を廃止
し地域の児童を対象とした健全育成型
として運営し、併せて山田北小学校児
童を対象に放課後児童クラブを開設し
てまいります。

ひとり暮らし高齢者世帯などが増加
することから「見守りネットワーク」
事業を推進し、日常の安否確認を行う
とともに、災害発生時における高齢者
や障害者などの要援護者への支援体制
の整備に努めてまいります。

介護サービス基盤の充実については、
第3期介護保険事業計画に基づき高齢

意識の醸成については、女性の各種審
議会や地域活動団体などへの積極的な
登用・参画を推進するとともに、女性
セミナーや生涯学習などにより、女性
の社会参画と男女共同参画意識の高揚
を図るための情報提供や学習活動の支
援に努めてまいります。

住民参加と協働で元氣創造、自律をめざすまち

創意工夫された地域づくりを支援

住民協働の推進については、平成18
年度に制定した住民協働推進支援事業
補助金交付制度により、自治会などの
創意・工夫された個性的な地域づくり
を支援してまいります。

また、新たな取り組みとして住民協
働で上豊間根自治会が実施するコミュ
ニティー施設整備に対し補助してまい
ります。町の集会施設の維持管理につ
いては、地元自治会などへの移行も含
めて検討してまいります。自治会など
が未組織の地区においては自主防災会
の組織化を進め、自治会組織結成へと
結び付けていきたいと考えております。

行政の制度、政策などについて町民
に情報提供を図り、町政への理解を深
めながら住民協働を推進するため、町
づくり出前講座を引き続き実施してま
いります。

団塊の世代の受け入れについては、
農林水産業就業希望者への研修制度、
移住希望者へ短期・中期体験用宿舎の

国際交流の推進については、昨年11
月にオランダ王国・ザイスト市の新市
長を表敬訪問し、今後のジュニア使節
団の受け入れと交流事業の継続実施に
ついて理解をいただきました。今後と
も交流を広げるため民間団体の育成な
どに努めてまいります。

提供などのメニューを用意し、町の
ホームページを活用し情報提供を実施
してまいります。

身の丈にあった、健全な行財政で元氣創造をめざすまち

収納対策室を設置し滞納整理強化

健全で効率的な行財政の運営につい
ては、財政計画2006と整合する第
8次山田町総合発展計画の施策事業を
着実に推進するとともに必要な財源を
確保し、町債の借入額についてはブラ
イマリーバランスの均衡に努め、経常
経費の圧縮・節減により、見込まれる
財源不足額の縮小を図ってまいります。
税源移譲に伴う収納業務の増大、ま
た、昨年10月に設置された岩手県地方
税特別滞納整理機構との連携による滞
納処理事務を推進するため、町の組織
を見直し、税務会計課に収納対策室を



者の総合的な相談支援と運動機能や口
腔機能および栄養改善の向上のための
介護予防教室の実施と、さらに要支援
者の自立に向けた予防給付などの推進
に努めてまいります。また、地域密着
型サービスとして小規模多機能型住宅
介護施設の整備を促進してまいります。
障害者福祉の充実については、障害
者自立支援法に基づく障害者福祉計画
による、自立支援給付事業・地域生活
支援事業を推進してまいります。

手をつなぎ、未来への芽をばぐみ元氣創造をめざすまち

町中央公民館の改修工事を実施

人生を豊かにする生涯学習の推進に
ついては、平成19年度を初年度とする
第8次山田町教育振興基本計画に基づ
き、各種生涯学習事業を推進してまい
ります。また、中央公民館は舞台装置
をはじめ施設が老朽化し、活動の拠点
発表の場として支障が生じていること
から、舞台装置の整備や冷暖房設備の
更新など大ホール改修を実施してまい
ります。

児童生徒の登下校する際の安全確保
については、本年度も「地域ぐるみの
学校安全体制整備事業」によりスクー
ルガードリーダーを委嘱し、取り組ん
でまいります。

施設整備については、豊間根小学校
電気設備更新事業などを実施するとと
もに、学校建物耐震診断の結果報告が

防災活動の要である消防ポンプ自動
車は第13分団を更新、防火水槽は田名
部、大浦地区へ整備してまいります。
防災意識の高揚を図るため、未組織
地区への自主防災組織の結成に努めて
まいります。また、地域防災活動力の
充実を図るため、自治会などに防災資
器材の配備を進めてまいります。
交通安全対策については、道路安全
施設等総点検を実施し、交通安全施設
の整備に努めてまいります。

3月となっており、その対応を検討し
てまいります。

本年は、第60回東北高等学校相撲選
手権大会並びに第59回岩手県体育大
会軟式野球競技一般B、第62回国民体
育大会選考会軟式野球競技一般Bが本
町で開催されることから、大会の成功
を期して支援してまいります。また、
老朽化した前須賀公園相撲場の改修や、
各種野球大会開催に対処するため、本
年度中に町民総合運動公園野球場にラ
バーフェンスを設置してまいります。

山田町の歴史を後世に伝える町史に
ついては、昭和61年に上巻、平成9年
に中巻が刊行され、この3月に、昭和
30年から平成12年までの歴史を収録し
た下巻が配本の運びとなりました。
女性の社会参画拡大と男女共同参画

実施してまいります。

本年度から団塊の世代が退職するこ
とになります。町民サービスや事務に
支障が生じないよう、後継者の育成な
どに努めてまいります。

◆ ◆ ◆
以上、平成19年度における主要な施
策について申し述べてまいりました。

平成7年の地方分権推進法の施行に
より「国と地方を対等・協力の関係」
に変えたとされましたが、平成14年か
らの「三位一体の改革」を経ても本来
私たちが求め続けてきた地方分権は実
現しておらず、なお「未完の改革」と
いわざるを得ません。当然、国に対し
ては引き続き豊かな自治と新しい国の
かたちを求めて行動していかなければ
ならないと考えております。住民に近
い空間にできる限りの力を集める分権
改革はこの時代の潮流であります。私
は「住民に近づければ近いほど望ましい」
(ニア・イズ・ベター)の考えを基調に
して、自治体と住民が知恵を出し合い、
協力し合いながら「このまちに住んで
よかった」と思えるようなまちづくり
に全力を傾注する覚悟であります。

終わりに、本年4月は統一地方選挙
が執行されます。地方分権を巡る三位
一体改革の嵐の中、激動の4年間であ
りました。しかし、厳しい環境にあつ
ても自立の道を歩んでおりますのも、
町民の負託を受けた議員各位の町政に
対するご理解とご支援の賜物でありま
す。ここにあらためて深く感謝申し上
げ、施政方針とさせていただきます。